やよい会自治会における

自主防災活動

1．活動の経過
2．自主防災のコンセプト
3．活動内容
4．今後の課題

なぜ成功したか
シンプルがベスト
一に行動・二に行動
超高齢化対策

やよい会自治会　永澤鐵男
（兼）自主防災隊

1．活動の経過

- １９８１（Ｓ５６年）　ライフタウン入居　４３歳
- １９９５　阪神淡路大地震
- ２００１　退職　６３歳
  ↓　会社人間 ⇒ 地域へ一歩
  ↓充実した１０年　気心の知れた仲間づくり
  ↓　（遊んで・飲んで・食べて）
- ２０１１　東日本大震災
- ２０１２　やよい自主防災隊発足

志願者　自主防災隊　１８名

志願者　災害時サポーター　２１名

充実の１０年間
自治会館を無料開放

- 自治会館⇒**許可なしで使用**できる　合鍵３０個配付
- 寿会⇒**健友くらぶ**（老人くささをなくした）
- ゴルフ愛好会・・・男性・女性　⇒リーダーが生まれる
- ウオーク愛好会・・・男性・女性　⇒リーダーが生まれる
- 全１５サークルが誕生し、さらに　⇒リーダーが生まれる

遊んで・飲んで・食べて　⇒　気心に知れた仲間できた

2．自主防災隊のコンセプト
（シンプルがベスト）

- **平常時**　★仲間と「遊んで・飲んで・食べて」
  「気力・体力・知力」の維持
  ★訓練を重ね災害に備える

- **災害時**　★自助・・・生きのびる
  ★共助・・・家族と近所を助ける
  ★生きのびた人が、災害時サポーターと
  協力して自主防災活動を組織的に行う
  ★公助・・・なるようにしかならない

３－１　自主防災隊の勉強会

- **先進的な活動**している自治会の話を聞こう！！
  湘南台四辻大塚自治会　神山会長を招待

「防災３種の神器」の話に全員が感動した
シンプルで負担が少なく活動しやすい

①　防災旗・・・被害が無い場合通りに出す
②　防災笛・・・助けを呼ぶ場合吹く
③　災害時マニュアル・・・落ち着いて行動する

３－２　防災３種の神器

- 各家庭（１２１世帯）に配付

①　防災旗　　１本（サンプル参照）
②　防災笛　　２個（サンプル参照）
③　マニュアル１枚（サンプル参照）

費用　約１５００円／世帯

安価で最大効果

３－３　住民説明会開催

大地震のとき
３日間が大事！！

命あってこそ
その後は始まる

住民説明会

会場が狭いので３回に分けた

直下型　阪神淡路大地震・・倒壊・火災
海底型　東日本大震災　・・倒壊・大津波

- もし、この地域に大地震が発生したら
- 私たちはどうすればよいのでしょう
- ライフタウン・・・海抜３０～４０m

- やよい自主防災隊は
  直下型　M９～M１０の巨大地震を想定
  （最悪の状況）

発生から３分間

- **自分の命は、自分で守れ**

「てんでに守れ」

すなわち「自助」・・・生存率２割

助けたくても、行けない・来れない

発生から３分後

- 家族の安否を確認しろ
- 幸いにも無事を確認したら、防災旗を通りに出せ

- 下敷きや大怪我で救助が必要な時は、防災笛を吹け

揺れが収まってから３日間

- **隣近所で助けあう**

すなわち「**共助**」・・・生存率７割

生きのびた人達で「自主防災隊」を再編成して「**共助**」の体制をつくる

がれきの**下敷きでの生存は３日間**が限界

３日以降

- 滝の沢地区住民が協力して
  公設避難施設運営

すなわち「公助」・・・生存率１割

場所　滝の沢小学校

秩序ある避難生活

・・・なるようにしかならない

３－４　自主防災訓練

- 清掃日を利用した小訓練（年５回）
- 藤沢市の津波訓練を利用した旗出し訓練
- 救急救命（心肺蘇生・ＡＥＤ）訓練
- 総合防災訓練

★旗出し訓練

★負傷者搬送訓練

★仮設トイレ設営訓練

★炊き出し訓練

旗出し訓練

津波訓練サイレンを利用　７４／１２１

３－５近隣自治会との交流

睦自治会との交流会

どんな交流会なの！！

- ウクレレコンサート＆飲み会
- 異文化体験談＆飲み会
- ジャズを聴こう＆飲み会
- ゴルフ＆飲み会
- 単なる飲み会

4．今後の課題

- 超高齢化時代が到来する・・・５年以内に
- ８０歳・９０歳代の人たちが多くなる
- 自治会役員の担い手がいなくなる

- 対策を練るのは“今でしょ”

自治会内で有識者を募り検討会を始める

5．災害時こそ中学生の活躍

- 災害時、昼も夜も地域内に居る
- 昼、お父さん・お母さんは仕事で居ない
- 夜、交通機関がダメで帰れない
- 元気なシニアは地域内に居る

6．新しい仕組みを作ろう

- 平時

（1）地域の防災訓練に参加し自信を持つ

（2）地域の人々と交流し顔見知りになる

- 災害時

（1）自分の命は自分で守る･･･自助

（2）家族と隣近所を助ける ･･･共助

（3）シニアと協力して共助を行う